

週休二日の実現に向けて



働き方を変える。建設業を変えていく。

これは、単なるスローガンではありません。必ず成し遂げるといふ宣言であり、約束でもあります。

小さな気付きや行動から、業界全体を変えていく。

一人ひとりの働き方を見直すことが、次世代の働き手を増やすことにもつながると思うから。

週休二日を。

誰もが笑顔で働ける未来を。すべての現場で実現していきます。



確かなものを 地球と未来に

一般社団法人 **日本建設業連合会 九州支部**

JFCC JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS KYUSHU BRANCH OFFICE

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目3-22 産恵ビル3階 TEL 092-451-6244 FAX 092-481-0941

編集・発行 総務広報委員会

一般社団法人 日本建設業連合会 本部・各支部

本 部	〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 TEL03-3552-3201 FAX03-3551-4954	中部支部	〒460-0008 名古屋市中区栄3-28-21 TEL052-261-3808 FAX052-261-4363	愛知・岐阜・静岡・三重
北海道支部	〒060-0004 札幌市中央区北四条西3丁目 TEL011-261-6243 FAX011-261-2528	関西支部	〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-30 TEL06-6941-3658 FAX06-6942-4031	大阪・福井・滋賀・京都・兵庫・奈良・和歌山
東北支部	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-2-3 TEL022-221-7810 FAX022-265-9465	中国支部	〒730-0051 広島市中区大手町2-11-15 TEL082-243-3017 FAX082-242-2380	広島・鳥取・島根・岡山・山口
関東支部	〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 TEL03-3552-3208 FAX03-3552-3206	四国支部	〒760-0026 高松市磨屋町6-4 TEL087-851-6969 FAX087-851-3176	香川・徳島・愛媛・高知
北陸支部	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1 TEL025-285-8886 FAX025-285-8884	九州支部	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-22 TEL092-451-6244 FAX092-481-0941	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

(一社)日本建設業連合会ホームページ
<https://www.nikkenren.com/>

日建連のホームページには、建設業に関する基本データ、戦後の建設業界の関連年表、全国の土木博物館一覧表、また、他では見られない迫力ある土木写真など、お役に立つ情報が満載です。ぜひ、アクセスしてみてください。

九州の建設業 [キーストン]

Keystone

vol.37

2021年2月発行

Keystone/キーストン

要石(かなめ石)の意。社会資本の整備を通じて当団体が、豊かな未来づくりのかなめとなるよう願いをこめて。



稲佐山からの夜景(写真提供:(一社)長崎県観光連盟)

一般社団法人 日本建設業連合会 九州支部

Message

支部長ご挨拶



(一社)日本建設業連合会
九州支部 支部長

小森 浩之

〈鹿島建設㈱ 執行役員 九州支店長〉

持続可能な建設業の礎を築くために

九州支部長の小森でございます。

本誌をご覧の皆様には当支部の事業活動につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

近年、国内各地で地震や台風、記録的豪雨などの大規模な自然災害が頻発しており、昨年は令和2年7月豪雨により九州地方も大きな被害を受けました。建設業は、国民が必要とする生活と産業の基盤となる社会資本の提供とそれらの適切な維持修繕・更新を担う、国民生活に不可欠な産業であり、自然災害への迅速な対応の責務を一層強く感じています。

昨年末には、本年度末で終了する「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の後継策として「同5か年加速化対策」が閣議決定されましたが、建設業界は適切な施工体制を整え、円滑な執行を求める声に応えていかなければなりません。

一方、建設業における就業者の高齢化は着実に進行しており、次世代の担い手となるべき若手技能労働者の確保が喫緊の課題となっています。持続可能な建設業の礎を築き、国土の安全・安心を支え続ける産業の将来を確かなものにして行くためには、「働き方改革」に積極的に取り組み、IT化・自動化などによって生産性向上を実現していかなければなりません。そのため日建連では次の2点に注力してまいります。

1点目は建設キャリアアップシステム(CCUS)の安定的な運営の実現による更なる処遇改善です。CCUSが建設現場の標準となる流れを形成することと併せ、活用を義務付ける法制度の創設や関係団体との協働体制の構築などの要望・提言を行い、更なる定着に貢献してまいります。

2点目は適正な工期設定に基づく週休2日の着実な浸透です。週休2日実現行動計画に基づく4週8閉所の達成に向けて課題検証を進めるとともに、工期に関する基準を受発注者双方の指標とすべく周知を図り、週休2日を前提とした就労環境が浸透するよう努めてまいります。

2020年初頭から始まった新型コロナウイルスの感染拡大は社会に大きな変化をもたらし、建設業界も大きな影響を受けております。当支部の活動においても、各種現場見学会の中止や各種講演会等の規模縮小を余儀なくされましたが、一方でWeb会議を活用した意見交換会の開催など新たな動きも出てきており、今後も「withコロナ」の中での進め方について模索しながら、着実な活動を進めてまいります。

引き続き建設業界の健全な発展と魅力ある建設産業づくりのための活動を展開してまいりますので、皆様のご理解ご協力と今一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

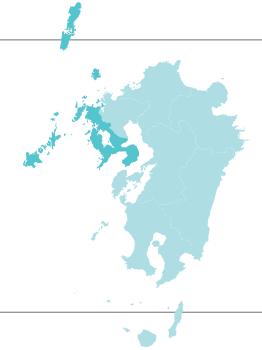
九州の建設業 [キーストン] Keystone

vol.37
2021年2月
発行

contents

九州ウォッチング

2 人・産業・地域を結び、
新たな時代を生き抜く
力強い長崎県づくり
〈長崎県〉



けんせつ小町

いつもイキイキ けんせつ小町!

- 10 松尾建設株式会社
野口 捺菜さん
- 12 オリエンタル白石株式会社 福岡支店
陶山 茜さん
- 14 株式会社竹中工務店 九州支店
入江 由佳さん

日建連の取組み

16 建設キャリアアップシステム
技能者登録のご案内

Report

- 17 令和2年(2020年)7月豪雨への対応報告
日建連、災害復旧支援に対応!
- 18 ・意見交換会
- 19 ・インターンシップ講演会
- 20 ・九州建設技術フォーラム2020
・災害防止総決起大会
- 21 ・建設技術講演会
・安全環境委員会活動



Outline

22 団体の概要

Information

24 会員・役員名簿

【2020年度・新型コロナウイルス感染防止対応について】

- 1) 日建連九州支部主催の各催しにおいては、参加者には全員マスク着用をお願いし、適度な社会的距離を保った座席配置で実施しています(一部の催しは人数制限のうえ、体温測定や手指消毒も実施)。
- 2) 学校や一般の方を対象とする「現場見学会」及び、安全環境委員会の「現場点検」、また「講習会」の一部は、中止しました。
- 3) 「けんせつ小町」の撮影においては、撮影スタッフは体温測定と手指消毒を行い、マスクを着用して実施しています。なお、撮影対象者がマスクを外した際も適度な距離を保ち、極力会話を交わさず、短時間で実施しています。



人・産業・地域を結び、 新たな時代を生き抜く 力強い長崎県づくり



長崎県

〈長崎県知事〉

なかむら ほうどう
中村 法道
昭和25年11月29日生まれ

■略歴

最終学歴 長崎大学経済学部 平成21年4月 長崎県副知事
平成16年4月 長崎県農林部長 平成22年3月 長崎県知事就任
平成19年4月 長崎県総務部長

はじめに

昨年は、新型コロナウイルス感染症が全国で拡大する中、令和2年7月豪雨や台風9号、10号などの自然災害が相次ぎ、甚大な被害が発生しました。そうした中、建設業の皆様方には、被災現場での応急的な対応や二次被害の防止、復旧に向けた活動など、県民の生命や財産を守る地域の守り手としてご尽力いただきましたことに、深く感謝申し上げます。

さて、今日、長崎県は、人口減少や少子高齢化が全国よりも早いスピードで進展するとともに、今年には新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う幅広い分野への影響が生じるなど、たいへん厳しい状況に直面しております。

また、そうした一方で、長年の悲願であります新幹線の開業や

IRの誘致等を含めた大小様々なプロジェクトやまちづくりが進展しており、加えて、産業面においてもAI・IoT・ロボット関連や航空機関連、海洋エネルギー関連分野を中心に新たな動きが生じているところであり、本県は、まちの佇まいや産業構造が大きく変化する、まさに100年に一度の変革の時期を迎えております。

こうした変化をチャンスと捉え、確実に地域の活性化に結び付けていかなければならないとの考えのもと、令和3年度から新たな総合計画である「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」をスタートさせ、県民の皆様と共に新たな時代を生き抜いていく、力強い長崎県づくりに取り組んでまいります。

長崎県総合計画 チェンジ&チャレンジ2025

政策展開の基本方向

基本理念

基本理念を実現するための3つの柱

基本戦略

人・産業・地域を結び、新たな時代を生き抜く
力強い長崎県づくり

1

地域で活躍する人材を育て、
未来を切り拓く
(人材を育て、未来を切り拓く)

2

力強い産業を育て、
魅力あるしごとを生み出す
(産業を育て、しごとを生み出す)

3

夢や希望のあるまち、
持続可能な地域を創る
(希望のあるまちを創り、明日へつなぐ)

1 若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る

2 移住対策の充実、関係人口の幅広い活用を推進する

3 長崎県の未来を創る子ども、郷土を愛する人を育てる

4 みんなで支えあう地域を創る

1 新しい時代に対応した力強い産業を育てる

2 交流人口を拡大し、海外の活力を取り込む

3 環境変化に対応し、一次産業を活性化する

1 人口減少に対応できる持続可能な地域を創る

2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る

3 安全安心で快適な地域を創る

若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る

建設業における担い手の確保

■建設業の魅力発信

女性が建設業で活躍できる環境づくりや建設業の活性化を目指すため、「ながさき建設女子ネットワーク」(愛称“よりより”)を設立し、女性の視点で様々な取り組みを行っています(令和元年度は長崎市内で女子高校・大学生の合同交流会を実施)。

■人材確保・育成

令和元年度より、(公財)長崎県建設技術研究センターにおいて、建設業入職後の若手技術者を対象とした土木施工管理に関する短期研修として「土木施工管理基礎研修」が新設されました(令和元年度の実施期間は5月～7月)。県では離島から当研修に参加する受講者に対して、旅費の一部を助成しています。



“よりより”～ながさき建設女子ネットワーク～女子高校・大学生合同交流会

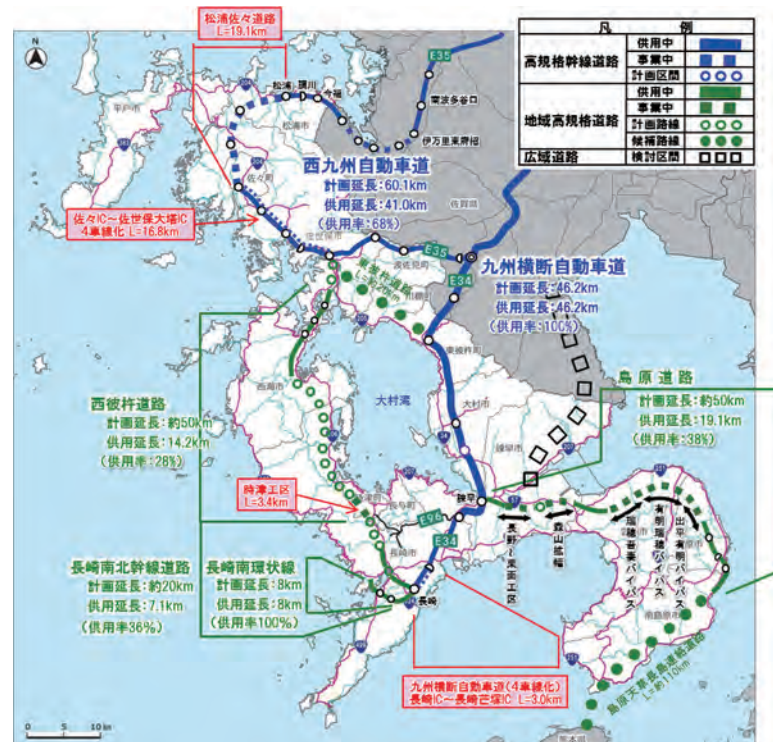


土木施工管理基礎研修の様子

地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る

高規格幹線道路・地域高規格道路の整備による高速交通ネットワークの構築

本県では、県内外の主要都市間や都市部と地方部間の時間短縮、定時性確保を図ることで地域間の交流促進や連携強化を実現し、観光の振興、企業立地の促進、物流の効率化等を支援するため、NEXCO西日本や国、県において、高規格幹線道路の九州横断自動車道や西九州自動車道、地域高規格道路の島原道路や西彼杵道路などの整備を重点的に進めています。



長崎県の幹線道路網図(令和2年4月現在)



島原道路 諫早インター工区(令和2年3月22日開通)



西九州自動車道(調川IC~松浦IC)(平成30年12月15日開通)

生活に密着した道路の整備による道路ネットワークの拡充

本県は、多くの離島、半島で構成されていることから、人が輝く、たくましい長崎県を実現するためには、安全・安心で快適な暮らしを確保するとともに、災害時においても県民の生命や財産、暮らしを守る強靱な県土づくりの支援、更には、老朽化が進む道路インフラを適切に維持していく必要があります。

このため、生活に密着した道路の整備・維持管理が重要であり、国県道の整備、防災対策、交通安全対策、道路インフラの長寿命化、交通円滑化対策など、生活に密着した道路の整備を計画的に推進します。

主要地方道 佐世保吉井松浦線 大渡工区(佐世保市)



整備前

整備後

国内外との交流の拠点となる港の整備

■長崎県の港湾の概要

長崎県には、重要港湾が5港、地方港湾が77港あり、このほかに56条港湾(港湾区域の定めがない港湾で、都道府県知事が水域を告示した港湾)が22港あります。重要港湾である佐世保港を除き、すべて長崎県が港湾管理者として管理しております。

離島・半島を多く有する本県におきましては、重要・地方港湾の約半数に定期航路が就航しており、令和元年度には南島原市の口ノ津港においてフェリー埠頭を再編し、新たなターミナルビルや浮桟橋が一部完成、令和2年12月には対馬市の厳原港において旅客船埠頭の再編として、新国内ターミナルが供用されるなど、港湾は地域住民の安定した生活を送るための重要な役割を担っております。



厳原港旅客船埠頭完成イメージ図



口ノ津港航空写真(令和2年10月撮影)

■長崎港松が枝地区国際観光船埠頭の概要

長崎港においては、美しいまちなかにクルーズ船が直接接岸できるなど、まち全体で上質なおもてなしが可能な港であり、1958年のカロニア号初入港以来、60年にわたり2,200隻を超えるクルーズ船が寄港し、多くの賑わいを創出してきました。今後の増加が見込まれるクルーズ船に対応するため、令和2年度に松が枝岸壁の2バース化が新規事業として採択されました。今後は延伸する岸壁とターミナル機能等とあわせて、背後のまちなみと調和した都市空間の形成、交通結節機能等を検討し、「みなとづくり」と「まちづくり」を一体的に進めます。

松が枝岸壁 2バース化イメージ図

※各機能の位置は、あくまでイメージであり、配置等を確定するものではありません。



入港クルーズ船(一例)



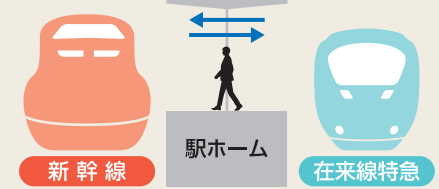
九州新幹線西九州ルートへの整備促進

九州新幹線西九州ルートは博多～長崎を結ぶ路線であり、そのうち武雄温泉～長崎間の約66kmが、武雄温泉駅において新幹線と在来線特急を乗り換える対面乗換方式により、令和4年秋に開業する予定です。開業に向け、現地においては、トンネルや橋りょうなどの本線土木工事が完成し、駅舎の建築工事や軌道・電気・機械工事などが進められています。

また、西九州ルートの本線の姿は、新大阪まで直通し、全国の新幹線ネットワークにつながることであり、長崎県は西九州地域の将来の発展のため、時間短縮による交流人口の拡大など、整備効果が最も高い全線フル規格による整備の早期実現を目指しています。

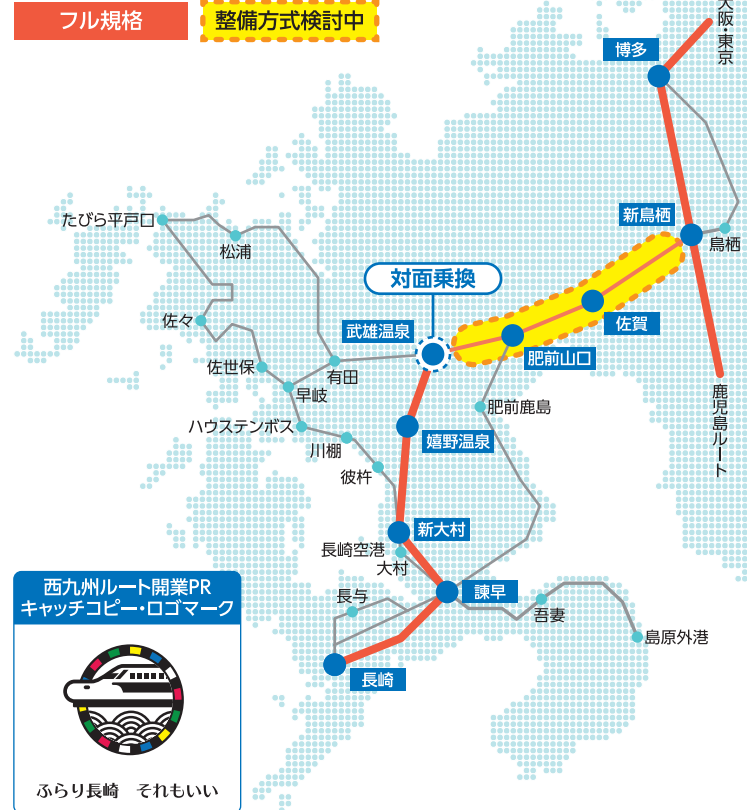
対面乗換方式

対面乗換とは、新幹線と在来線特急を同じホームで乗り換えることです。



長崎～武雄温泉間(対面乗換方式) 令和4年秋 開業予定

※対面乗換方式の場合…武雄温泉～博多間は在来線を運行します。



長崎市宝町付近(令和2年10月撮影) 提供:鉄道・運輸機構

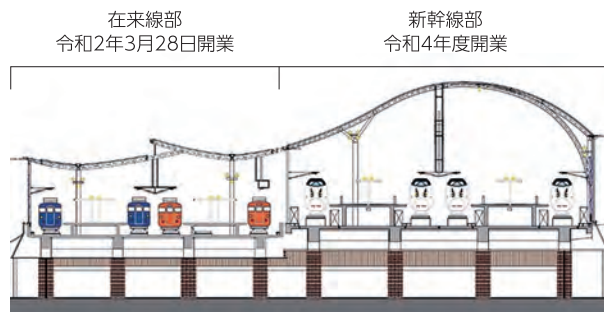


諫早駅(令和2年10月撮影) 提供:鉄道・運輸機構

新幹線開業に向けた長崎駅周辺の整備

交通渋滞の解消などを目的としたJR長崎本線連続立体交差事業により、令和2年3月28日に長崎駅から浦上駅間が高架線路へ切り替わり、4カ所の踏切が除却されるとともに、長崎駅と浦上駅の新たな駅舎が開業しました。引き続き令和4年秋に予定されている九州新幹線西九州ルートへの開業に向け、長崎の玄関口としての魅力を高め賑わいを創出するため、周辺施設の整備を進めてまいります。

長崎駅



断面図

旧梁川橋踏切



高架切替前



高架切替後

安全安心で快適な地域を創る

交通安全確保に向けた通学路等の整備

長崎県内の通学路における歩道の整備率は5割程度で、まだ十分とはいえない状況です。歩行者の安全・安心な移動空間の確保のため、歩道の整備など、歩行者の安全性向上対策を実施します。また、安全で快適な歩行空間の確保、及び地震時や台風時の電柱の倒壊を防ぐため、電線類を道路の地下等に収める「無電柱化」を推進しております。

歩道など交通安全対策の推進 一般県道佐世保世知原線(佐世保市田原町)



整備前



整備後

無電柱化の推進 一般県道長与大橋町線(長崎市昭和町地区)



整備前



整備後

防災・減災対策のための国土強靱化の推進

■河川の改修・ダムの整備

本県では過去に、1時間雨量187mmを観測した昭和57年の長崎大水害など、幾多の洪水に見舞われるとともに、平成6年から7年にかけての大渇水などの水源不足にも見舞われてきました。そのため、県では、過去の災害を契機に、河川改修とダムの最適な組み合わせにより治水及び利水対策を進めています。



日野川河川改修工事(佐世保市)



石木ダム事業(川棚町)

■頻発する自然災害と既存ダムの事前放流

全国各地で水害が頻発・激甚化しており、本県においても令和2年7月豪雨によって多くの公共施設災害が発生しました。二級河川郡川では、今回の雨量が昭和51年、57年の災害と同規模程度でしたが、河川改修と再開発された萱瀬ダムの洪水調節の効果によって、洪水の水位を低下させ、被害を軽減することができました。また、令和2年8月からは既存ダムの事前放流の運用を開始することによって、地域の更なる安全・安心の向上に取り組んでいます。



令和2年7月豪雨により増水した郡川(大村市)

位置図



萱瀬ダム再開発の状況



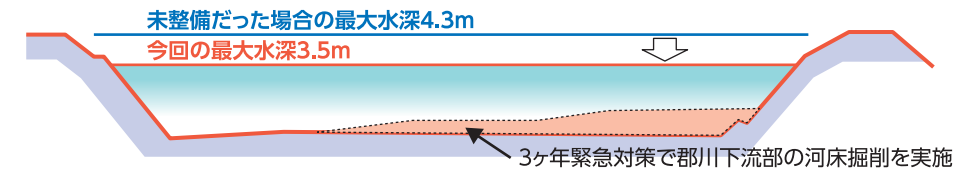
再開発前



再開発後(高上げ)

ダム下流(荒瀬橋地点)断面図

河川改修(掘削)とダムの洪水調節(再開発)によって最大0.8mの水位が低減された。



■砂防事業の紹介

長崎県は急峻な山地、崖地を多く有するとともに、台風や豪雨に見舞われやすい地域であり、土砂災害(土石流・地滑り・崖崩れ)が発生しやすい環境にあります。土砂災害は人命や財産、暮らしに大きな被害を及ぼします。災害に強い県土づくりを目指し、ハード・ソフトの両面から土砂災害対策に取り組んでいます。

ハード事業 大雨や地震により発生する土砂災害に備え、施設を整備することで防災・減災を図っています。



整備前

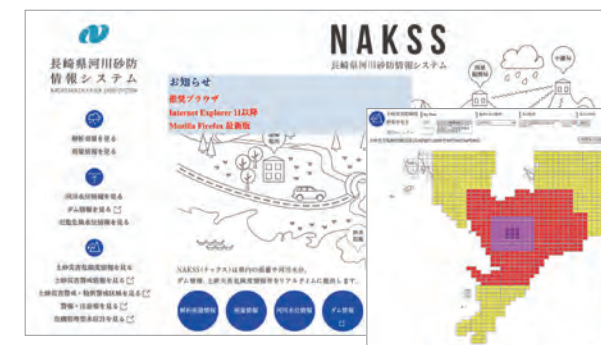


整備後

岩ノ口(2)地区急傾斜地崩壊対策事業(諫早市)

ソフト事業 土砂災害危険度情報等の防災情報をリアルタイムに収集・提供しています。また、土砂災害警戒区域等を指定し、市町や住民と連携して警戒避難体制の整備を図っています。

長崎県河川砂防情報システムで防災情報の提供



土砂災害警戒区域等指定状況についてHPで周知



いつもイキイキ 土木 けんせつ小町!

「けんせつ小町」は建設業で活躍する女性の愛称です。



建設業界に入った理由は何でしょうか。

大学の所属するコースで、土木分野の専門知識を学んだことが理由です。またインターンシップの際に、トンネル工事現場で働く女性職員が、イキイキと「やりがい」を持って楽しそうに働いている姿を見たことも要因になりました。建設業には他の業界にない、大きな魅力を感じました。コンサルタント会社でのインターンシップも体験したのですが、私には実際にものづくりを行う総合建設業が合っていると思い、出身地である佐賀県の建設会社へ入りました。

現在の仕事内容ややりがいを教えてください。

現在は、佐賀3号線鳥栖地区の「道路4車線化」に向けた改築工事現場で、安全管理、写真管理、品質管理、出来形管理といった「施工管理」に携わっています。この仕事のやりがいは、現場が竣工したときの達成感です。たとえ苦勞することがあっても完成した道路を見ると、「頑張って良かった」と思えます。工事に取り組んだ日々は、すべてが良き思い出です。また、私一人だけでなく工事に関わった人たちと、喜びを分かち合えるところもやりがいにつながっています。

これからの目標や叶えたい夢はありますか。

令和3年(2021年)で建設の仕事も4年目になりますが、経験も知識も不足しており、一人前にはまだまだの状態です。今後は、道路工事に関わる人々から信頼される技術者を目標に仕事に取り組むつもりです。そのためにも、「一級土木施工管理技士」の資格取得をめざします。そして将来的には、所長となって現場全体を管理し、安全に着実に工事を進められる人材になりたいと思っています。仕事としては、新設される道路の大規模工事に携わってみたいですね。

未来のけんせつ小町へメッセージ!

建設業界に関心のある女子学生の皆さん、まずは業界を知るためにインターンシップなどに参加し、実際に働いている方々の姿を見たり、業界の方々から話を聞いたりしてみてください。「入ってみたいけど…」という不安を持っているならば、心配いりません。建設業界は今、働き方や女性への対応もずいぶん変わってきています。周囲の協力もあり、私自身も、働きやすさを感じています。

工事情報

◎工事名:佐賀3号線鳥栖地区(上り線)改築工事
◎概要:佐賀3号線鳥栖地区における、道路4車線化改築工事(延長約530m) / 場所:佐賀県鳥栖市 / 工期:令和2年11月1日~令和3年6月30日

達成感の大きな、
「頑張って良かった」
と思える仕事です。

松尾建設株式会社
舗道工事部舗道工事課所属

のぐちなな
野口 捺菜さん

2018年度入社
長崎大学工学部 社会環境デザイン工学コース出身

【2020年12月撮影】撮影は、「新型コロナウイルス感染防止」に配慮して行っています。マスクを外した際も適度な距離を保ち、極力会話を交わさず、短時間で実施しています。



建設業界に入った理由は何でしょうか。

子どもの頃から、図画工作が好きだったことが理由の一つです。将来の仕事としてのづくり分野を考えながら高校は理数系に進み、大学もものづくりに関わる工学部を選びました。特にインフラに関連する未知の分野へ学習意欲が向き、土木の分野を選択したのですが、中でも、ダイナミックでカッコいい「橋」を建設する事に携わってみたいという思いが募っていきました。そこで入社を志望したのが、橋の建設を得意分野とするオリエンタル白石でした。

現在の仕事内容ややりがいを教えてください。

現在、床版取替工事の設計担当として、構造設計をはじめ図面の作成・修正・チェック、3Dモデルの作成などを行っています。また、以前は令和2年(2020年)11月に完成した新設橋梁(福岡市・周船寺橋)の工事で現場代理人を務め、資材手配や測量などの施工管理、発注者への連絡などを行っていました。設計業務も現場管理業務も、それぞれにやりがいがあり、今、こうした仕事を通して、経験や蓄えた知識をもとに考えた様々な工夫が、次第に形になっていく喜びを実感しています。

これからの目標や叶えたい夢はありますか。

設計と施工、両方の“目線”を持った技術者になりたいです。まずは、どんな仕事を依頼されてもしっかり対応できるように成長したいと思っています。設計の分野では、いずれチームのリーダーとなって仕事を進めてみたい。また、機会があれば、現場での工事にも携わりたいですね。所長として施工全体を管理できるような技術力・管理能力も身につけたいと思います。その目標達成のステップとして、「技術士」の資格取得にチャレンジすることを考えています。

未来のけんせつ小町へメッセージ!

建設業界は、女性が活躍し始めたばかりです。女性は、特有のライフステージがあるため継続的に働くには難しい一面もあります。しかし、女性技術者が増えてきた今日、女性を取り巻く建設業の環境はさらに変革が進んでいくと思います。今は、女性にとってもやりがい大きく、働きやすい環境を創造する絶好のチャンス!ぜひ一緒に建設業界を担っていきましょう。

工事情報

◎工事名:沖縄自動車道(特定更新等)億首川橋(下り線)他1橋床版取替工事
◎概要:沖縄自動車道における、「億首川橋(379.9m)」及び「幸喜橋(162.0m)」の床版取替工事/場所:沖縄県国頭郡金武町/沖縄県名護市/工期:令和2年3月18日~令和4年3月7日

設計そして施工、
両方の“目線”を持った
技術者をめざします。



オリエンタル白石株式会社
福岡支店 技術部技術チーム所属

す やま あかね
陶山 茜さん

2018年度入社
長崎大学工学部 社会環境デザイン工学コース出身

いつもイキイキ 建築
けんせつ小町!

「けんせつ小町」は建設業で活躍する女性の愛称です。



建設業界に入った理由は何でしょうか。

テレビ番組や実際の工事現場で見た、大工、鳶、左官など、颯爽と働く職人さんに憧れたことがきっかけです。確かな技術でものづくりを行う姿を見て、そんな職人になろうと思ったこともありました。その延長線上にあったのが、スケールの大きなものづくりを行う建設業界であり、業界自体に興味を持ったことで学びの対象、将来の進路も建設分野を考えるようになりました。そこで専門的な知識を身につけるため、大学に進学し建築学科を専攻しました。

現在の仕事内容ややりがいを教えてください。

今、マンション共用部分の内外装工事を担当しており、品質管理や工程調整等にも携わっています。やりがいを感じるのは、職人さんたちが楽しそうに仕事をしている姿を見たときで、現場で働くだけでも安全に楽しく仕事ができるように作業環境を整えたり、工程を考慮したりと、「より働きやすい環境づくり」も心がけています。また、受け持つ工事が工程通り円滑に進むこと、課題を一つ一つ解決することで建築物が着実に出来上がっていくことにも大きな充実感を覚えます。

これからの目標や叶えたい夢はありますか。

個人的な目標としては、「一級建築士」の資格取得です。この資格を取ることで、やりがいもさらに大きくなることでしょう。工事現場においては、担当できる仕事の幅をもっと広げていきたいと思っています。また、「職人さんから必要とされる人材になる」ことも大切な目標ですね。いずれ現場を任せられる立場となって、テーマパークやショッピングモールなど大規模な観光・商業施設の建築工事を、ぜひ手がけてみたいです。

未来のけんせつ小町へメッセージ!

建設業界のイメージである3K(キツイ・キタナイ・キケン)は、もう過去のものです。現場環境は、意識して整えることでより改善できます。当作業所でも私たちけんせつ小町は、グループ「渚のピーチgirls」を結成し、作業所をより良い環境にするため、様々な活動に取り組んできました。今、建設業界は女性ならではの繊細な感性を必要としています。皆さん一緒に、さらに魅力ある建設業界へ変えていきましょう。

工事情報

◎工事名:ザ・パークハウス福岡タワーズ新築工事(2棟)
◎概要:地上28階建・地下免震構造マンション/場所:福岡県福岡市中央区/工期:平成29年11月1日~令和2年12月25日(令和3年3月18日引渡し)

ランドマークとなる
観光・商業施設の建築を
いつの日か手がけたい。

株式会社竹中工務店
九州支店 作業所所属

いりえ ゆか
入江 由佳さん

2018年度入社
福岡大学工学部 建築学科出身

【2020年12月撮影】撮影は、「新型コロナウイルス感染防止」に配慮して行っています。マスクを外した際も適度な距離を保ち、極力会話を交わさず、短時間で実施しています。

技能者の皆さん持っていますか？

技能者登録のご案内

今のうちに作っちゃお！



こんなにお得っ！CCUSカードを今すぐ手に入れよう！

◎毎日310円退職金が貯まる！

CCUSカードを1日1回現場でタッチすれば、建退共^{※1}の退職金が貯まります^{※2}。
例えば、掛金1日310円で、1か月21日就労した場合、10年(120月)で約95万円の退職金が給付されます。
※1:別途建退共への加入が必要です。 ※2:令和3年度から開始します。

◎賃金が上がる！

カードの色(技能や経験)に応じて上昇していく賃金の目安づくりが行われています。
この技能や経験を蓄積するのが、CCUSカードです。



◎仕事のチャンスが広がる！

国は、2023年度を目標として、民間工事を含め全ての工事で、CCUSを完全実施することにしています。
国のモデル工事や地方公共団体などの取組がすでに始まっています。そして、CCUSカードを持つ技能者を多く雇う会社が有利になり、カードを持つ技能者の働くチャンスが増えます。CCUSカードを持つことが業界のスタンダードになります。

◎CCUSカード1枚で資格を証明！

将来は、CCUSカードさえあれば、各証明の携帯が不要になります。
かさばって、現場に持っていきのが大変な資格証・受講証。



申請から利用まで
カンタン手続き!
3ステップ

- STEP1 申請方法は3通り!**
- ①インターネット
 - ②認定登録機関での申請 ※お近くの認定登録機関は、CCUSホームページでご確認ください。
 - ③事業者による代行申請 ※代行申請については、所属会社にお問い合わせください。
- STEP2 カードが手元に届く!**
- STEP3 現場ごとに置かれたカードリーダーなどで、履歴を蓄積!**
- カードは10年間有効
 - 資格と経歴が蓄積される
 - 経験と技能の向上がカードの色に反映

※このページは、「一般財団法人建設業振興基金」が配布しているリーフレットに掲載された情報をもとに作成しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先

一般財団法人 建設業振興基金 建設キャリアアップシステム事業本部
東京都港区虎ノ門4丁目2番12号 虎ノ門4丁目MTビル2号館 Web▶<https://www.ccus.jp/>

令和2年(2020年)7月豪雨への対応報告

日建連、災害復旧支援に対応!



写真提供:国土交通省 九州地方整備局

大雨の状況

2020年7月初旬から日本列島に停滞する梅雨前線により、九州地方から中国、四国、近畿、中部、東海、北陸地方など、西日本から東日本にかけての広い範囲において、「大雨特別警報」が7県で相次いで発令されるなど記録的な豪雨に見舞われた。

特に九州では4日から7日は記録的な大雨となった。

7月3日から7月31日にかけて、各地で大雨となった同期間の総降水量は、長野県や高知県の多い所で2,000mmを超えたところがあり、九州南部、九州北部、東海、及び東北の多くの地点で、24、48、72時間降水量が観測史上1位の値を超えた。

被災状況(全国)

- 死者82名、行方不明者4名、住家の全半壊等4,558棟、住家浸水13,934棟の極めて甚大な被害が広範囲で発生。
- 国が管理する7水系8河川、県が管理する58水系194河川で決壊等による氾濫が発生。
(国が管理する1河川2箇所、県が管理する3河川3箇所で堤防が決壊)

災害対応(九州)

日建連九州支部では九州地方整備局との災害協定に基づき大型土嚢袋等の調達支援を行いました。

要請日	依頼元	納入先	支援内容
7月 7日	九州地方整備局	相良村役場	大型土嚢袋 …………… 700袋
7月 8日		球磨地域振興局	大型土嚢袋 …… 10,000袋外
		湯前町役場	土嚢袋 …………… 3,000袋等
7月12日		八代地域振興局	大型土嚢袋 …… 3,000袋等
		人吉市	土嚢袋 …………… 180,000袋
7月20日		下球磨消防組合	油吸着マット …… 1,000枚

九州地方整備局の調査・対応

球磨川水系球磨川 5k850 八代市 球磨川堰下流 国道219号の被災状況調査(熊本県球磨村)



7月4日 7:08



7月7日

橋梁の被災状況調査



7月10日

写真提供:国土交通省 九州地方整備局

意見交換会

■主催／日建連九州支部 ■開催日／2020年12月2日 ■場所／第三博多倍成ビル



毎年、日建連九州支部では国土交通省九州地方整備局と「現場における諸課題に関する意見交換会」を開催しています。2020年度は29人が出席して意見交換が行われましたが、九州支部が「入札契約制度等に関する提案テーマ」、「現場における諸課題の改善に関する提案テーマ」を説明した後、九州地方整備局はこのテーマへの回答を行いました。その後は「自由討議」も実施。約2時間にわたり活発な意見が交換されました。

意見交換会テーマ(抜粋)

契約委員会

1.入札契約手続きについて

「段階選抜方式」は、選抜者数の見直しにより10社+αと受注機会は拡大されましたが、選抜委員はほぼ固定化しており非選抜が常態化している会員も推測されるようになりました。選抜固定化解消対策について意見徴収を行った結果、手持ち工事量や非選抜回数、また提案の一次審査導入などによって配点検討を行っていただき、受注機会の改善をお願いしたい。

整備局回答▶段階的選抜方式については、国土交通省全体の方針に則り、平成30年度より、一般土木及び建築のWTO工事に適用しています。選抜固定化の対策については現在検討しているところです。

「技術提案の評価」については、ヒアリング実施や評価基準・内容の開示をもって次案件へのフィードバックを行うことで、受発注者ともに「より良い」提案を模索し技術向上につなげていきたいと各会員が依然切に要望しております。

整備局回答▶「国土交通省直轄工事における総合評価落札方式の運用ガイドライン」では、総合評価落札方式を実施するにあたって、工事品質の確保や向上に資する技術提案を求めるように努める。また、技術力競争を行うことが民間企業における技術力へのインセンティブとなり、技術と経営に優れた健全な建設業が育成されるとされています。

2.週休二日制について

3.生産性の向上について

生産性向上の施策の一つである「コンクリート工の効率化」については、機械式鉄筋定着工法、機械式鉄筋継手工法、流動性を高めたコンクリートの各ガイドラインに基づき発注段階から取り組まれていたとの回答は16%しかありませんでした。これら3つのガイドラインは、受注者として有効であると認識されており、発注段階からの取り組みを望むところです。

整備局回答▶コンクリート構造物においては、現場打ち、プレキャスト等のそれぞれのメリットを生かし、適材適所で活用していく必要があると考えています。なお、その他のガイドラインにつきましても、引き続き、各種会議での説明を通じて、適切な運用の浸透に努めて参ります。

積算資材委員会

1.労働環境について

現場閉所出来ない理由として、「工期設定の厳しさ」「工程遅延の回復」等が挙げられており、原因となる施工条件のミスマッチとしては、「工期算出の歩掛りや日数の差異」「工程に影響する種々の現場条件の相違」があり、この傾向は変わっていません。工事内容に即した歩掛り使用及び日数の算出、現場の条件や制約に合った工期の設定を引き続きお願いします。

整備局回答▶工事の発注においては、現場条件や制約条件に応じた積算、必要工期の設定に努めるとともに、施工条件については特記仕様書への明示を引き続き取り組んで参ります。歩掛りや日当たり施工量等実態と乖離が多い工種については、具体的に教示願います。

2.生産性の向上について

3.業務の効率化について

更なる書類の削減・簡素化の参考にして頂き、建設業界における労働環境改善の観点からもより一層の業務の効率化に取り組んで頂けるようお願いします。

整備局回答▶これまで、各県建設業協会代表者とのWGで「書類の簡素化」や「検査時に持参不要な工事関係書類」など、取り組んできたところです。アンケート結果を拝見すると、「添付書類の削減」に関する意見が多いことから、今後は、その簡素化に関する検討を行って参ります。

4.設計変更・工事一時中止について

工事一時中止が発生する要因は、施工条件の齟齬に起因するもの5割、隣接工事の影響が2割、気象の影響が1割、地元要件が1割となっています。発注に当たっては、施工条件の整備、隣接工事との調整、地元要件の解決を含めて計画を十分に行ううえで発注することが必要かと思えます。

整備局回答▶工事発注においては、工事着手前に地元や隣接工事との調整を完了するよう、事務所等に指導・徹底を図って参ります。また、やむを得ず発注段階で完了していないものについては、施工条件を明示したうえで、必要工期の確保を徹底して参ります。

5.女性活躍推進について

6.新型コロナウイルス感染防止対策

7.建設キャリアアップシステムの取組状況について

インターンシップ講演会

■主催／長崎大学 ■開催日／2020年11月25日 ■場所／長崎大学



2020年度インターンシップ講演会に会員企業から2名を派遣!

日建連九州支部は毎年、長崎大学工学部工学科社会環境デザイン工学コースの要請によって会員企業から社員を派遣し、「インターンシップ講演会」で講演を行っています。これは、就職を控える学部学生および大学院生に対し、土木事業に携わる建設業者やコンサルタント業者、公務員の「生の声」を届け、進路決定に役立ててもらうために企画されたイベントです。

2020年度は松尾建設(株)と三井住友建設(株)から1名ずつ(計2名)が講師として派遣され、建設業界に関心を持つ学生たちに建設業や自社業務の紹介、また仕事のやりがいなどについて説明しました。

参加者の声(社会環境デザイン工学コース3年生の感想文から抜粋)

加藤優奈▶今回の説明会では一度に建設業、建設コンサルタント、公務員の方々の話を聞くことができ非常に有意義な時間になりました。建設業界における3つの職業からの視点について聞くことができ、建設業界をより深く理解することができました。また、相互に協力し合いながら建設に関わっていくことがイメージできました。さらに、このようなお話を聞いて、一段と進路を建設業にしようという気持ちも大きくなりました。今回は、女性の土木施工管理の方のお話を聞くことができ、実際に建設業に女性が進出していることを実感することができました。頂いた資料にも、様々な支援が普及していることが書かれていて、安心して自分のやりたいことができる環境が整えられつつあることが分かり、以前より安心できました。建設業の方々のお話では、現場での様子を非常に細かく教えて頂き、多くのエピソードも聞けました。働くイメージも思い浮かべやすかったので、良かったです。多くの人とコミュニケーションを取りながら、一つ一つのものを皆で作っていくこと、さらに、多くの人々のためになるという社会貢献度が高く、しかも人々の命に関わる仕事でもあり、責任感の求められる建設業に魅力を感じました。

福田 仁▶私は現在、ゼネコンを志望している。一応、頭の片隅には公務員も考えているが、今のところはゼネコンに入社したいと思っている。今回の講演会では、ゼネコン・コンサルタント・公務員の三者から主な業務であったり、その職を目指すにあたってこれから身につけておいた方がよい能力であったりと、様々な話を聞くことができた。まず土木(建設)業は、地域の安全・安心な生活を支え、地域を守る重要な産業であることを当たり前のこととして、力を尽くしていかなければならないことが分かった。近年、地震や豪雨などの災害に多く見舞われている日本は、多くの犠牲者を出してしまっている。そのため、災害に強い街づくりをしていくことがこれからの若い技術者には求められる。卒業までの期間、これまで以上に就職や就職してからの自分の働き方、役目を意識し、想像していきたいと思った。今後は、高い専門性を身につけて、世のため、人のために全力を尽くせる人材になりたい。お忙しい中、貴重な時間を割いて、貴重なお話を頂きありがとうございました。

片瀬麻尋▶今回のインターンシップ講演会では、建設業、コンサルタント業、公務員として実際に働かれている方々から、業務内容や仕事のやりがいなどの話を聞くことができた。進路で迷っていたので、とても参考になった。建設業(ゼネコン)の仕事は、公共工事、民間工事を受注し、建造物を直接工事してくれる協力会社を管理し、受注した工事を工期内・予算内で円滑に進めていくことである。工事を円滑に進めるためには、材料の寸法のチェック、測量、工事で用いる機械のレンタル発注、協力会社との打ち合わせなどの前工程がとても重要になってくる。特に、新入社員の間には、翌日の工事内容を予習しておかないと分らなくなるので、前日の準備がとても大切である。また、作業中は測量、作業員さんの安全性の確保、計画どおり進んでいるかなどのスケジュール管理、周辺地域などへの配慮も大事になってくる。講師の方もおっしゃられていた建設業という仕事のやりがいは、建造物の一番近いところで働くことができ、また、自分の努力が形になって残るところだと思ふ。そしてこの建設業は、働きながらスキルを身につけていく経験工学ともいえるもので、働きながら様々なスキル、知識を身につけ、成長できる点も大きな魅力だと思ふ。建設業、コンサルタント業、公務員が行う土木事業は、市民生活の安定、社会経済の基礎・基盤づくりのためのもので、非常に社会貢献度が高いことを改めて感じた。また、これからの社会は、総人口の減少に加え、増加する災害などの問題を抱えており、就職する上で、働いていく約40年間を想像することが大切だと思ふ。

九州建設技術フォーラム2020

■主催／九州建設技術フォーラム実行委員会ほか ■開催日／2020年10月20・21日 ■場所／福岡国際会議場



九州建設技術フォーラムは、新しい建設技術の開発・活用・普及促進をより効果的に図るために、「産」「学」「官」が、それぞれの新技術の開発・活用の取り組みについて情報を発信・交換するイベントです。技術情報のプレゼンテーションや展示、新技術相談などの形をとりながら連携を深め、九州における建設技術の更なる発展をめざして毎年開催されています。

2020年度は予約制を採用し、人数制限、入口での体温チェックなど新型コロナウイルス対策を講じた上で実施されました。「次世代技術で築く持続可能な未来社会」というキャッチフレーズのもと、基調講演（WEBでも配信）のほか、ブース展示、プレゼンテーション、ポスターセッションなどで技術情報を提供。日建連会員企業をはじめとする建設企業に加え、行政や研究機関などから計2,342人が来場しました。なお、「リクルーティングプレゼンテーション」は、専用ホームページから配信。日建連は、大学生・専門学校生・高校生たちへ日建連を紹介したほか、建設業界の構造や魅力を説明しました。

災害防止総決起大会

■主催／日建連九州支部安全環境委員会 ■後援／福岡労働局 ■開催日／2020年11月13日 ■場所／福岡国際会議場



建設業における労働災害は長期的には減少傾向にありますが、死亡者数は依然として全産業の中で占める割合が高く、憂慮すべき状況は変わりません。そこで九州支部では年末年始の災害防止活動として11月に「災害防止総決起大会」を福岡労働局の後援のもと開催し、労働災害の撲滅を期しています。2020年度は小森浩之支部長、福岡労働局労働基準部安全課の柴田浩課長の挨拶に続き2つの講演が行われました。

まずは、福岡労働局労働基準部安全課の石橋淳一安全専門官が、「建設業における労働災害の防止について」という演題で、「安全施工サイクル」や「三大災害」などの多様な内容を説明。次いで、九州地方整備局企画部の竹下卓宏技術調整管理官が、「建設現場における事故防止の取り組みについて」という演題で「工事事故発生状況」などを説明されたほか、事故防止のポイントや事故事例なども解説されました。講演の後は、尾崎光義安全環境委員会第1小委員長が「決意表明」を引田守安全環境委員会委員長へ読み上げ大会は終了しました。

建設技術講演会

■主催／日建連九州支部 ■開催日／2020年12月18日 ■場所／福岡国際会議場



建設技術講演会は、建設業に関する技術の進歩と経営の改善を推進し国民生活と産業活動基盤の充実に寄与することを目的に、建設業に関する専門的知識の習得および研鑽を図るために開催されています。

2020年度は小森浩之支部長の「建設業の再生には、担い手確保と生産性の向上が不可欠であり、危機意識を持って早期に取り組みたい」という挨拶に続いて、3つの講演を実施しました。まずは、九州地方整備局の堂園俊多企画部長による「建設業における最近の話題」で講演がスタート。次いで、テレビの天気予報でもおなじみの日本気象協会九州支社の気象予報士・松井渉氏が登壇され、「激化する大雨・台風災害」というテーマで、近年、九州や西日本に災害をもたらした豪雨や台風について気象データなどをもとに解説されました。最後には、九州地方整備局企画部の寺下進一機械施工管理官が、「i-Construction 最新の取組状況について」という演題で、時代とともに進展する施工環境を詳しく説明。2020年度も充実した講演会となりました。

安全環境委員会活動

現場点検の実施状況および講習会の開催状況

<2020年度 安全環境委員会の主要活動>

部会別区分	講習会受講者
交通	1回 63名
地下埋	1回 61名
火薬類	1回 37名
環境	1回 56名
計	4回 217名

※2020年度の安全環境委員会は、新型コロナウイルスの感染防止のために「現場点検」は実施せず、各種講習会だけを開催しました。



団体の概要

〈一般社団法人日本建設業連合会〉

■設立

(社)日本建設業団体連合会(旧日建連)、(社)日本土木工業協会(土工協)、(社)建築業協会(建築協)の三団体は、2011年4月1日に合併し、(社)日本建設業連合会(日建連)として新たに発足しました。また、2013年4月に一般社団法人に移行しました。建設業界が大きな転換期を迎えつつある今、建設業団体としての機能を一層強化・拡充し、建設業の発展に向けた活動をより強力に展開してまいります。

■目的

日本建設業連合会(日建連)は、日本を代表する総合建設業者を主な構成員とする団体です。日建連は、建設業に係る諸制度をはじめ、建設産業における内外の基本的な諸課題の解決に取り組むとともに、建設業に関する技術の進歩と経営の改善を推進することにより、わが国の建設産業界の健全な発展を図り、もって国民生活と産業活動の充実に寄与すること、を目的としています。

■会員

日建連は、建設業界の連合組織であり、正会員である団体会員と法人会員、および特別会員によって構成されています。

- 法人会員…一定規模以上の総合建設業者
- 団体会員…主に総合建設業者で構成する事業者団体

さらに、日本国内で事業活動を行っている外国の建設業者及び、建設業に密接に関連する事業を行っている法人を対象にした特別会員制度も設けています。

2021年2月1日現在の会員数は、正会員142社・5団体、特別会員7社です。

■役員

総会において理事、監事が選任されます。任期はそれぞれ2年となっています。協会活動の円滑な運営を図るため、理事会の決議により会長、副会長、事務総長、専務理事、常務理事を置いています。

■機関

事業を推進するため、次の機関を設置しています。

- ①総会
定時、臨時の2種類があり、定時総会は毎年4月に開催されます。事業計画、収支予算、役員を選任など協会活動の基本的な諸事項について審議、決定します。
- ②理事会
通常、毎月1回開催され、総会に付議する事項や総会の議決を要しない会務に関する事項を審議、決定します。
- ③事業本部および委員会
協会活動の中心となる調査研究組織であり、2つの事業本部と2つの特別委員会、28の委員会を設けています。委員は会員各社から募り、建設業に係る諸問題について調査研究活動を行っています。
- ④支部
全国9地区に支部を設置しています。支部には、支部長、副支部長、運営委員、監査委員を置き、本部の活動方針に基づく活動を行っています。
- ⑤事務局
本部、支部それぞれに事務局を設置しています。

〈九州支部の概要〉

■設立

当支部は、本部の合併により、2011年4月1日から(社)日本建設業連合会(日建連)の九州支部となりました。また、2013年4月に一般社団法人に移行しました。支部の活動は、引き続き従来どおりの活動を行うとともに、3団体合併の主旨に則り、建設産業全体の健全な発展へ向け諸活動をより強力に展開してまいります。

■会員

支部の会員は「九州地区において本社・支店等を有し建設業を営業者で、かつ、本部会員である者」に限られています。また、九州地区に本社・支店等がなくても、本部正会員であれば、支部の会員になることができます。

したがって企業規模・技術水準・社会的信用などあらゆる面で真に業界を代表するに足る企業によって構成されている団体です。

会員数は2021年2月1日現在で59社を数えています。

■役員

支部長は総会において、支部長候補者の了承後、会長から任命されます。副支部長は総会で選任された運営委員の互選により支部長が任命します。副支部長は9名を置いています。監査委員は総会において推薦者の了承後監事が指名します。任期はそれぞれ2年となっています。

■事業

本支部は次のような事業を行っています。

- ①災害対策への対応
- ②公共工事の円滑な実施
- ③安全・環境対策等の推進
- ④請負契約制度の改善及び積算の適正化と資材対策の推進
- ⑤技術開発の推進
- ⑥電力施設建設事業、鉄道建設事業、海洋開発建設事業の推進
- ⑦広報活動の推進

■委員会

支部活動の中心となる調査研究機関として、広く会員から委員を募り、総務広報委員会、契約委員会、積算資材委員会、電力委員会、鉄道委員会、安全環境委員会、建築委員会を設置しています。

■沖縄支所

沖縄地区での活動を実施するため、1996年6月から沖縄に支所を置いています。支所に所属する会員数は43社を有しています。

一般社団法人日本建設業連合会九州支部会員

(五十音順 2021年2月1日現在59社)

ア

アイサワ工業(株)九州支店
青木あすなろ建設(株)九州支店
あおみ建設(株)九州支店
(株)浅川組九州営業所
(株)浅沼組九州支店
(株)新井組九州営業所
(株)安藤・間九州支店

イ

岩田地崎建設(株)九州支店

ウ

梅林建設(株)

オ

大木建設(株)九州支店
(株)大林組九州支店
(株)大本組九州支店
(株)奥村組九州支店
オリエンタル白石(株)福岡支店

カ

鹿島建設(株)九州支店
鹿島道路(株)九州支店
株木建設(株)九州支店

キ

九鉄工業(株)

ク

(株)熊谷組九州支店

コ

広成建設(株)九州支店
(株)鴻池組九州支店
五洋建設(株)九州支店

サ

佐藤工業(株)九州支店
三軌建設(株)

シ

清水建設(株)九州支店
ショーボンド建設(株)九州支店

セ

西武建設(株)九州支店
(株)銭高組九州支店

タ

大成建設(株)九州支店
大成ロテック(株)九州支社
大日本土木(株)九州支店
大豊建設(株)九州支店
(株)竹中工務店九州支店
(株)竹中土木九州支店

テ

鉄建建設(株)九州支店

ト

東亜建設工業(株)九州支店
東急建設(株)九州支店
東洋建設(株)九州支店
戸田建設(株)九州支店
飛島建設(株)九州支店

ニ

西松建設(株)九州支社
日特建設(株)九州支店
日本国土開発(株)九州支店

ノ

(株)ノバック九州支店

ヒ

(株)ピーエス三菱九州支店

フ

(株)福田組九州支店
(株)フジタ九州支店
(株)不動テトラ九州支店

ホ

(株)本間組九州支店

マ

前田建設工業(株)九州支店
松尾建設(株)

ミ

三井住友建設(株)九州支店
みらい建設工業(株)九州支店

ム

村本建設(株)九州支店

モ

(株)森本組九州支店

ヨ

(株)吉田組九州支店
寄神建設(株)九州支店

リ

りんかい日産建設(株)九州支店

ワ

若築建設(株)九州支店

役員

(2021年2月1日付)

支部長	鹿島建設(株)九州支店長 小森 浩之	副支部長	清水建設(株)九州支店長 堤 義人
副支部長	西松建設(株)九州支社長 吉田 卓生	"	(株)安藤・間九州支店長 大西 亮
"	梅林建設(株)社長 梅林 秀伍	"	鉄建建設(株)九州支店長 白石 稔久
"	大成建設(株)九州支店長 川村 信司	"	(株)大林組九州支店長 引田 守
"	(株)熊谷組九州支店長 宮脇 悟	"	(株)鴻池組九州支店長 興 柁 博己

運営委員	青木あすなろ建設(株)九州支店長 福本 聖史	運営委員	日本国土開発(株)九州支店長 草野 康成
"	(株)奥村組九州支店長 林 裕之	"	(株)フジタ九州支店長 河端 巧
"	九鉄工業(株)社長 古賀 徹志	"	前田建設工業(株)九州支店長 尾付野 誠
"	五洋建設(株)九州支店長 下石 誠	"	松尾建設(株)社長 松尾 哲吾
"	佐藤工業(株)九州支店長 中村 豊彦	"	三井住友建設(株)九州支店長 柴田 雅俊
"	(株)銭高組九州支店長 野間 栄喜	監査委員	大日本土木(株)九州支店長 中山 努
"	(株)竹中土木九州支店長 松本 和豊	"	東急建設(株)九州支店長 久田 浩司
"	戸田建設(株)九州支店長 大井 清司	"	(株)不動テトラ九州支店長 濱野 尚則
"	飛島建設(株)九州支店長 曾我部 真也		